



市立三次中央病院 患者支援センターだより



令和6年5月発行

『患者支援センターだよりに寄せて』

新年度の挨拶

今年は、元日に発生した能登半島地震、翌日に発生した羽田空港での航空機衝突事故と波乱の1年の幕開けとなりました。震災地区には当院のDMATも派遣されましたが、直接支援に赴くわけではない私をはじめ、一人一人が何かしら出来ることで協力しなければと思っている次第です。その一方で、約4年を要してやっとコロナ禍から脱出出来たのでは、と少しの安堵感も出始めていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？ 病院内では皆さまにもまだマスクの着用をお願いいたしておりますが、市中では、マスクをしない方が多くなって来ているように感じます。コロナ禍以前の日常生活に戻りつつあるのは喜ばしいことです。



副院長・患者支援センター長

たつもと なおくに
立本直邦

さて、当院では、合計43名(=医師18名、看護師20名、臨床検査技師1名、臨床工学技士1名、理学療法士2名、診療情報管理士1名)の新規採用職員を迎えました。“働き方改革”の実践には、まだまだ十分な人員とは言えない部署も多々ありますので、さらに充実が計られることを願うばかりです。また、たいへん手狭な環境となって、皆さまにもご不便・ご迷惑をお掛けしています現在の病院ですが、2029年4月の新規開院を目指して、建て替え計画も概ね順調に進んでおります。今年度は基本的な設計図が作成される予定で、先日設計会社も決定いたしました。(何かの縁でしょうか、現在の病院を設計した会社=(株)山下設計に決定しました。) 今後は、各部署が最新の知見を持ち寄って、摺り合わせ、細かな設計も進められて行くことになるでしょう。

患者支援センターでは若干の配置移動等はありませんでしたが、引き続き、スタッフ一丸となって、患者様、そしてそのご家族様に対する、受(初)診から退院までに我々ができるさまざまなサポートをこれまで以上にスムーズにまた切れ目なく、細かく行って参る所存です。また、皆さまのご意見、ご要望には、引き続き迅速にお応えして参りますので、今年度も患者支援センターをよろしくお願いいたします。最後に、皆さまのますますのご健勝ご多幸を心より祈念いたしております。



市立三次中央病院
患者支援センター

〒728-8502 広島県三次市東酒屋町 10531 番地

TEL 0824-65-0239 (予約)

TEL 0824-48-0086 (相談、入退院支援、退院・転院調整)

※過去に発行した患者支援センターだよりは、当院ホームページにてご覧いただけます。



患者支援室

患者支援室は、患者・ご家族の皆様が入院前から安全にかつ安心して治療にのぞみ、医療に参画できるように支援することを目的としています。

入院前から安心して当院での療養環境を送って頂けるよう各種の手続きやサポートなどを行い、それと同時に、退院後の生活について早期調整・早期介入を行い、安心して住み慣れた地域に戻って生活して頂けるように支援を行っています。

さらに地域の皆様の医療・福祉・介護や医療費等に関する総合相談やがん相談、治療と仕事の両立支援などの諸問題の解決に努め、院内外の専門職への情報提供や連携強化により地域での暮らしの支援を行っています。

看護師、社会福祉士、相談員等が幅広い視点からお互いの専門性を活かし、地域の皆様が安心して生活を送ることができるように、切れ目のないサポートに取り組んでいます。

どうぞよろしくお願いいたします。



患者支援室スタッフ

地域医療連携室

地域医療連携室は、地域の医療機関の皆様との円滑な医療連携を図るため次の業務を行っています。

- 1 地域の医療機関から当院への紹介予約の受付
- 2 当院から他の医療機関への逆紹介
- 3 高度医療機器を使った画像診断予約の受付
- 4 里帰り分娩のための外来予約受付
(当院で出産を希望される方へのご案内)
- 5 地域連携パス会議の開催
- 6 広報活動



地域医療連携室スタッフ

患者支援室と協力し、地域の医療機関や介護・福祉サービスの皆様方との連携を密にして、皆様から信頼され親しまれる運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携予約申込 FAX 様式が変更となりました

歯科医師の異動のため、地域医療連携予約申込 FAX 様式も変更となりましたので、当院口腔外科への地域医療連携予約の際は、市立三次中央病院ホームページに掲載している新しい様式をお使いください。(口腔外科以外の診療科は従来通りです)

地域医療連携予約などで、患者さんのご紹介をお願いします。